

### 先週のマーケット動向(7月26日~7月30日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,152.4	1,157.3	1,143.7	1,150.3	▲0.5
JPY/KRW	10.4242	10.5408	10.4189	10.4935	+0.056
KOSPI	3,265.99	3,265.99	3,202.32	3,202.32	▲52.10

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は方向感に乏しい展開。終末にイエレン米財務長官が、早ければ10月にも米国の債務上限突破の可能性を示唆した他、デルタ変異株の感染拡大等を受けてリスクオフムードとなり、26日は1,152.4にてオープン。中国当局による学習塾への規制発表やゲーム企業への独禁法違反措置等が嫌気して中国株式市場が急落すると、ドル/ウォンも上昇した。27日海外時間には中国への不透明感から欧米株が急落するとリスクオフのドル買いが優勢となり、28日にドル/ウォンは週高値1,157.3まで上昇。しかし、FOMCでFRBがテーパリング開始の目途となる目標までは程遠いとの従来の姿勢を堅持すると、一転してドル売りとなった。30日には月末の実需のウォン買いもあり週安値1,143.7まで下落したものの、外国人投資家による株売りが止まず実需取引が落ち着いた30日午後にはドル/ウォンは反発。結局、先週末対比0.5ウォン下落の1,150.3ウォンにてクローズ。

### 今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は底堅く推移する展開を予想する。韓国では半導体業界のピークアウト懸念から、外国人投資家による株売りが入っていることに加え、新型コロナデルタ変異株の感染拡大による景気回復懸念もあり、ウォンが買われにくい状況となっている。特に実需取引の細る8月上旬はウォン買いフローが少なくなるため、ドル/ウォンは上昇しやすいのではなかろうか。また、足許では米中の景気回復が失速しつつあることも、リスクオフのドル買い要因となるため、ドル/ウォンの上昇に繋がろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1140 ~ 1165	10.35 ~ 10.65	108.7 ~ 110.7

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

USD/KRW チャート (Source: Bloomberg)



JPY/KRW チャート (Source: Bloomberg)



### 今後の予定

- 2日(月) 米 7月 製造業PMI 確報値
- 欧 7月 製造業PMI 確報値
- 米 7月 ISM製造業景況指数
- 3日(火) 米 6月 耐久財受注 確報値
- 米 6月 製造業受注
- 韓 7月 CPI
- 日 7月 東京都区内CPI
- 4日(水) 欧 7月 サービス業PMI 確報値
- 米 7月 サービス業PMI 確報値
- 中 7月 総合PMI
- 中 7月 サービス業PMI
- 米 7月 ISM非製造業景況指数
- 米 7月 ADP雇用統計
- 6日(金) 米 7月 非農業部門雇用者数
- 米 7月 失業率
- 韓 6月 国際収支